



棚田のあぜに群生

絶滅危惧種 オカオグルマが開花

神戸市北区

神戸市のレッドデータで絶滅危惧種に指定されているキク科の多年草「オカオグルマ」(丘小車)が、北区山田町で咲き始めた。棚田のあぜで、一輪一輪が接するように黄色い花びらを広げ、陽光を受け止めている様は、花言葉「明るい人」を体現しているよう。(小川 晶)

耕作中止、今年で見納めか

環境保全に取り組む研究者らでつくる「兵庫・水辺ネットワーク」によると、オカオグルマは、4〜5月ごろに日当たりのいい草原や土手に咲く。本州から九州にかけて広く分布するが、神戸市内では北、西区などに点在する程度という。

今年から耕されなくなった棚田のあぜに咲くオカオグルマ。人の営みとともに生きてきた神戸市北区山田町

かな色彩をより際立たせる。だが、この光景が今年で見納めになる可能性がある。棚田の持ち主が80歳を超え、体力的な理由により昨年限りで耕作をやめた。人の手が入らなくなった土地は瞬く間に野に帰る。背の高い雑草が生い茂ると、オカオグルマが生育できない恐れがあるという。同ネットワークの大嶋範行さん(63)は「日本の原風景とともに、生物の多様性が失われていく」と懸念を強める。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

氏名[]

① キク科の多年草「オカオグルマ」は、いつ頃、どんなところで咲きますか？

[]

② 神戸市内最大の群生地とされる北区山田町の棚田のあぜで見られるこの光景が、今年で見納めになる可能性があるのは、なぜでしょう。その理由がわかるところに線を引きましょう。

③ 記事を読んだ感想を書きましょう。

[]